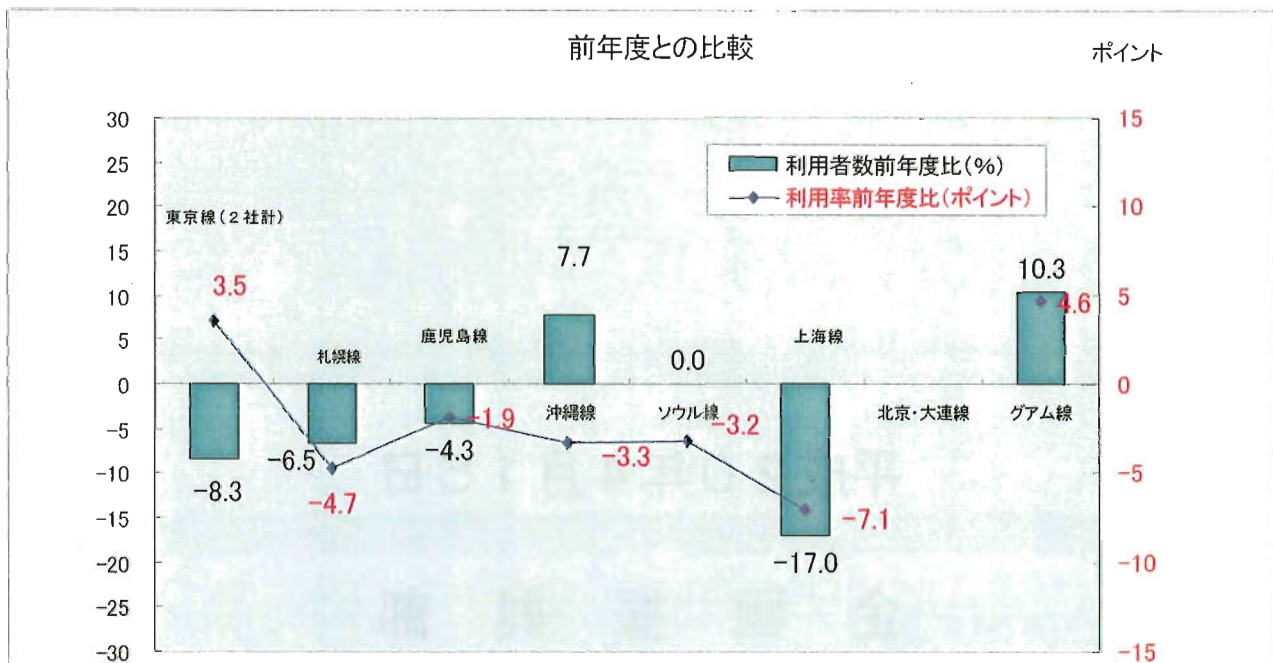
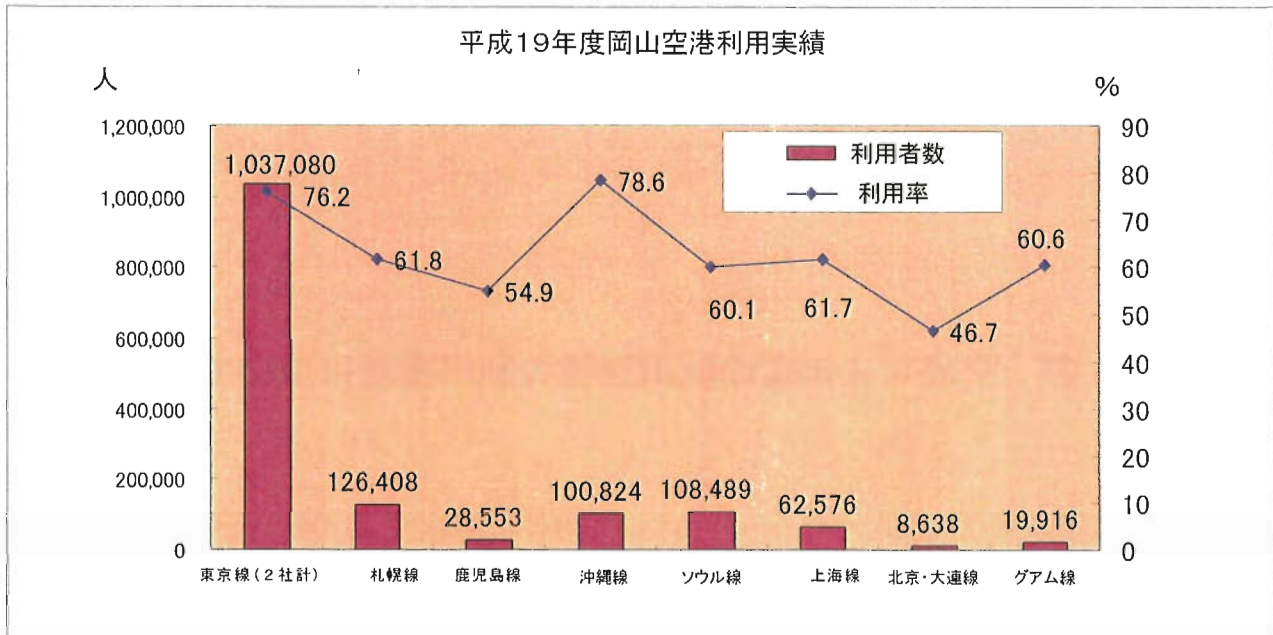


## 平成19年度の岡山空港の利用実績について

平成19年度の岡山空港の国内・国際定期路線利用者数は、東京線の運航機材の小型化や、中国国内での食の安全問題等による中国路線の利用者減により、前年度に比べて99,321人減少し、1,492,484人(前年度比6.2%減)となりました。逆に、チャーター便利用者数は、香港や台湾との間のチャーター便の増加により、前年度に比べて7,776人増加し、18,760人(前年度比70.8%増)となり、これらを含めた岡山空港の利用者総数は、5年連続で150万人を超え、1,511,244人となりました。

各路線別の利用状況は、次のとおりです。



### 1 国内定期路線

中学校の修学旅行シーズンである4月と5月に2往復に増便された沖縄線の利用は好調であったものの、主力の東京線の運航機材の小型化などにより、国内定期路線全体の利用者数は、前年度に比べて97,001人減の1,292,865人(前年度比7.0%減)、逆に利用率は前年度に比べて1.9ポイント増の74.1%となりました。

### (1) 東京線《全日空、日本航空》

利用者数は、全日空 702,657 人(前年度比 7.5 %減)、日本航空 334,423 人(前年度比 10.1 %減)の合計 1,037,080 人(前年度比 8.3 %減)で、前年度に比べて 94,080 人減でしたが、5 年連続で 100 万人を突破しました。利用率については、運航機材の小型化により 76.2 % (前年度比 3.5 ポイント増)と上昇しました。定期路線利用者総数に占める東京線の割合は、69.5 % (前年度比 1.6 ポイント減)となりました。

### (2) 札幌線《全日空》

利用者数は前年度に比べて、8,801 人減の 126,408 人 (前年度比 6.5 %減)となり、利用率も、4.7 ポイント減の 61.8 %となりました。これは、融雪期および 2～3 月におけるツアー客の利用減が大きな要因と思われます。

### (3) 鹿児島線《日本エアコミューター》

利用者数は、九州新幹線の影響もあって、前年度に比べて 1,296 人減の 28,553 人(前年度比 4.3 %減)となり、利用率も 1.9 ポイント減の 54.9 %となりました。

### (4) 沖縄線《日本トランスオーシャン航空》

利用者数は、前年度に比べて 7,176 人増の 100,824 人(前年度比 7.7 %増)となり、初の 10 万人台を記録しました。逆に利用率は 3.3 ポイント減の 78.6 %となりましたが、修学旅行も含めた沖縄への安定的な旅行需要により、引き続き好調な利用実績となりました。

## 2 国際定期路線

4 路線全体の利用者数は、2,320 人減の 199,619 人 (前年度比 1.1 %減)となり、平成 3 年の国際線就航以来初めて年間 20 万人を突破した昨年度には届かなかったものの、北京・大連線の就航、グアム線の修学旅行や団体旅行等の好調等により、ほぼ前年並みとなりました。

### (1) ソウル線《大韓航空》

利用者数は 33 人減の 108,489 人(前年度比 0.03%減)となり、昨年度に引き続き 10 万人台を達成しました。利用率は 4 月から 10 月末まで機材が大型化されたこともあり、前年度に比べて 3.2 ポイント減の 60.1%となりました。

### (2) 上海線《中国東方航空》

利用者数は前年度に比べて 12,788 人減の 62,576 人(前年度比 17.0%減)となり、利用率も、7.1 ポイント減の 61.7 %となりました。

### (3) グアム線《コンチネンタル航空》

利用者数は前年度に比べて 1,863 人増の 19,916 人(前年度比 10.3%増)で、利用率も 4.6 ポイント増の 60.6%となり、好調な利用実績となりました。

### (4) 北京・大連線《中国東方航空》

昨年 7 月に、9 年ぶりの新規路線として就航した北京・大連線は、利用者数は 8,638 人で、利用率は 46.7%となり、伸び悩みました。

## 3 国際チャーター便

旅客については、中国本土、韓国、台湾、香港、マカオ、米国、ハンガリー、ベトナム、カンボジアの 6 カ国・3 地域に 118 便(片道ベース)が運航され、利用者数は 17,739 人と、前年度(59 便、10,686 人)に比べて、人数で 66.0%増加しました。(国内チャーター便は 10 便、1,021 人) なお、貨物については、欧州からのボジョレヌーボー・ワイン輸入チャーター便が、2 便(約 210 t)運航されました。